

(別添2-10)

通信学習実施計画書（介護職員初任者研修課程）

1 講義を通信の方法によって行う地域

大阪府全域

2 添削指導の方法

・ 自宅学習期間の質問方法

質問は講義時間内に行うものとし、電話等での個別対応はしない。

添削担当講師：和田 奈緒美

- ・ 添削後、講義での要点の説明および質疑応答
- ・ 解答、解説の配布
- ・ 不合格者には、講義終了後に個別での質疑応答および添削指導
- ・ 合格点に達するまでの再課題の実施

3 科目別通信学習時間

| 科目番号・科目名 | 通信学習時間 | 通信形式で実施できる上限時間 (別紙3より) |
|------------------------|--------|---------------------------|
| (2) 介護における尊厳の保持・自立支援 | 3.5 時間 | 5 時間 |
| (3) 介護の基本 | 3 時間 | 3 時間 |
| (4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携 | 5 時間 | 7.5 時間 |
| (5) 介護におけるコミュニケーション技術 | 2 時間 | 3 時間 |
| (6) 老化の理解 | 2.5 時間 | 3 時間 |
| (7) 認知症の理解 | 2.5 時間 | 3 時間 |
| (8) 障がいの理解 | 1 時間 | 1.5 時間 |
| (9) こころとからだのしくみと生活支援技術 | 12 時間 | 12 時間 |

4 通信学習課題配布・提出標準日程

添削課題は3回に分けて配布する。

なお、第1回目の配布は開校式の日到手渡しとする。

学習課題の提出は、配布2週間後の通学時とし、第2回目、3回目についても同様の取り扱いとする。

学習課題の提出は、各課題の配布から2週間後の通学時に提出することとする。

5 通信学習課題

① 課題種類数 1種類

② 出題形式

第1課題 択一式 32問、 選択式 3問、 記述式 9問

第2課題 択一式 21問、 選択式 6問、 記述式 8問

第3課題 択一式 32問、 選択式 2問、 記述式 7問

③ 出題数（大問）

「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」 16問

「(3) 介護の基本」 16問

「(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携」 12問

「(5) 介護におけるコミュニケーション技術」 13問

「(6) 老化の理解」 4問

「(7) 認知症の理解」 18問

「(8) 障がいの理解」 6問

「(9) ころとからだのしくみと生活支援技術」 35問

6 評価基準

添削課題については、課題の理解度及び記述の的確性・論理性に応じて、担当講師がA、B、C、D の評価を行うこととする。評価がC以上の者を合格とする。

(100満点、A=90点以上、B=80~89点、C=70~79点、D=70点未満)

不合格になったときの取扱い

評価基準に達しない場合には、再提出を行い、基準に達するまで再評価を行う。

7 通信添削業務受託事業者

自社で実施する。